

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(742)6462
担当部課名	環境事業部	東清掃事業	所	管理
事務事業名	施設維持管理費(東清掃事業所)(環境)		事業コード	21220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	~63
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
し尿処理を適正に行なうことを常に保持するための施設の維持管理を行なう。環境面においては、省エネルギー等環境に配慮した中で光熱水費の経費削減をはかる。		管理棟、処理棟等の建物及び設備	
		対象数	3施設
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> 計画的、効率的な施設管理を行なうとともに環境配慮行動として、以下を重点において実行する。 <ol style="list-style-type: none"> 敷地内及び関連用地の緑地保全 施設内の省エネルギー行動の実行(処理量の減少に伴う施設の効率的運転及び部分消灯等による電気使用量抑制) (決算額) 33,420千円 ・需用費 21,342千円 ・役務費 675千円 ・委託料 11,073千円 ・使用料及び賃借料 45千円 ・備品購入費 285千円 		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~年度

4 評価指標

指標名	環境配慮行動による電気使用量(kwh)の前年度比2%削減		
指標式	$(\text{前年度使用量} \times 98 / 100) / 13$ 年度使用量 $\times 100$ $(1,167,558\text{kwh} \times 98 / 100) / 1,186,186\text{kwh} \times 100$		
指標設定の意図	対前年度使用量2%削減の目標使用量に対する削減効果を率で表す。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	130.5	112.4	a 96.5	b 100.0	100.0	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	46,611	40,082	33,420	52,078	37,599
	人員・時間数	(3.0人)	(3.0人)	(2.5人)	(2.5人)	(2.5人)
	人件費	25,260	25,260	21,050	21,050	21,050
	その他経費					
	合計	71,871	65,342	54,470	73,128	58,649
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 96.5%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{96.5}{100.0} \times 100 = 96.5\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	処理施設の2系統一元化に伴う使用施設の切替えがあったため前年度使用量を超える使用量となった。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	市内から排出されるし尿及び浄化槽汚泥は、今後も収集処理を要するものが存在するため事業の継続が必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	設備の多くは、処理量が減少してもコスト削減とならないため、効率性は年々低下している。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	一般廃棄物として、市が処理責任を果たすことが必要であるが、処理量の推移から広域的処理体制等も含め将来計画が必要である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	施設の適正管理を維持しながら環境配慮行動を実行していく。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	し尿の適正処理を推進する上で有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 効率的な施設運転や細かな施設管理により成果向上が可能である。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 事業内の一部には改善余地があるが、処理単価面では不効率化が進むと見込まれる。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>説明</p> し尿処理施設の代替は困難であり、継続が必要である。しかし、今後も処理量は減少を続けることから処理量の推移に適応した維持管理を進めることが必要である。	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了			

8 二次評価における変更点

--